



3/25 出雲

3/31 松江

高校生1日医師体験



3月25日（金）、県主催の「春季高校生医療現場体験セミナー」を出雲市民病院で開催し、4名の高校生を受け入れました。昨年の冬から内容を練り直し、今回も冬季と同様の内容で開催しました。

午前中は、松本賢治先生から聴診器のあて方や患者さんとのコミュニケーションのとり方をレクチャーしてもらい、その後、2グループに分かれて、大曲診療所の外来患者さんと市民病院の入院患者さんに聴診器を用いてお話をしてもらいました。午後は、「家庭医・在宅医」についてのDVDを見てもらった後、実際の症例を提示して、患者さんの死生観や医師としての考え方をディスカッションするセッションを行いました。

今回のセミナーを通して、高校生が将来どんな医師になりたいかを考えるきっかけになればと思います。
(出雲市民病院・足立)

松江生協病院では3月31日（木）に高校生の医療現場体験セミナーを開催し、10名の高校生を受け入れました。午前中は縫合体験と診察体験の2グループに分かれて、実際の縫合キットを使って縫合の仕方を教わったり、聴診器や打鍵器を使って診察の方法を教わるなど実践的に学びました。午後からは、BLS講習とレントゲン室や検査室の見学を行い、普段は見ることができない医療現場を見ることができて貴重な経験になりました。セミナーの最後には、植先生の研修報告会もあり、この1年の研修の様子を高校生に伝えていただきました。なかなか普段の学校生活では体験できない生の医療現場に触れることができ、将来の進路選択に役立つ1日となりました。

毎年恒例の高校生医療現場体験セミナー。このセミナーを経て、ひとりでも多くの高校生が医師を目指してくれることを願っています。



高校生の感想😊

- 実際に医療現場を間近で見学したり体験して、インターネットや本で調べても分からないことを体感することができてよかった
- 聞いたり見たりするだけでは知ることのできない医療の難しさ、また医療のあり方について実際に体験することで学ぶことができ、これから進路を考えていくうえで大切なことを学べた
- 患者の立場からでは想像もつかないようなところにまで気を配って診察を行っているを知り、自分もそんな医師になりたいと思った。今日得たものを大切にして勉強をがんばろうと思う